

科目区分	研究科目		
授業科目名	救急・集中治療医学		
担当者名	中永 士師明	配当年次	2, 3年次
単位数	15単位(選択)	実施場所	研究室
授業形態	実験実習		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
授業の概要・到達目標 授業の目的: 研究を進めるうえで必要となる, 実験や学会等での発表, 論文作成にかかる技術的知識や技能について学ぶことを目的とする。 授業の到達目標: 作成した論文を学術論文誌に公表後, 学位審査を経て, 学位取得を目標とする。 授業の概要: 次の二つの課題を探究する。 1. 救急・集中治療医学講座の臨床での主な役割は, 救急外来/集中治療室(ER/ICU)での臓器機能障害と臓器損傷に対するsupportive therapy(臓器補助治療)である。具体的にはAcute lung injury (ALI)/ARDSに対する機械的人工換気, Acute kidney injury(AKI)に対するContinuous renal replacement therapy(CRRT) など。授業ではALI/ARDS, AKIの病態生理とsupportive therapy について講義と実習を通して学ぶ。 2. 医療はEffectiveness study から得られた情報に従い, 実践されるべきである。医学と医療の課題は efficacy と effectivenessのgapを埋めることにある。臨床系講座の使命は, Effectiveness studyを行うことであり, 授業ではEffectiveness studyを行うのに必要な基盤について概説し, 今後の制度設計等を考える。 ※注) Efficacy study:理想的な環境(実験室), あるいは限られた対象(一施設で少数)で行われた研究。 Effectiveness study:臨床現場に即した環境, 状況での研究。(十分な対象患者数, 他施設, 治療企図が行われている, など)			
問い合わせ先(氏名, メールアドレス等) 中永 士師明, nakaeh@doc.med.akita-u.ac.jp			
その他特記事項 履修に関する情報: 社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。 教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または, 文献を指定する。 自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。			